



図書館だより

1. 授業で利用される資料について

中央図書館では一般図書と研究図書のいずれも一部一冊の所蔵を原則としております。1冊しか所蔵のない図書を課題として指定された場合、それが借出されてしまうと、多数の学生が国立国会図書館や他大学図書館等へ集中して閲覧にいき迷惑をかけてしまうことになります。やむを得ない理由で中央図書館の蔵書を授業や課題でご利用になる場合には、館内利用限定とする等の処置をとることもできますので、総合閲覧課まで事前にご相談くださるようお願いいたします。

また、授業で利用される資料については複数部数の購入や選定図書として特別な扱いをしている図書館、学生読書室などもあります。詳細は異なりますので、それぞれの箇所にお問い合わせください。

2. データベースの適正利用について

図書館では多数の電子ジャーナルやデータベースを契約し、学内に公開しています。先日一部の端末よりプログラムを使用して、短時間に多量のダウンロードがなされ、不正利用と認定され、利用が一時休止されてしまう事態が生じました。契約に違反した場合、一時的な休止だけでなく、今後の利用にも支障がでることがあります。一般的に利用は個人の研究目的に限定されており、ダウンロード用のソフトウェアやプログラムの使用は禁止されています。それぞれの契約条件をよくお読みの上、適正に利用してくださるよう、お願いいたします。

3. E-mailアドレス登録について

図書館では予約図書の到着や返却督促の連絡は原則としてE-mailで自動的におこなっています。非常勤教職員の方の場合は、図書館カード発行および更新時に確認させていただいていますが、専任教職員の方については、ご本人からのお申し出により登録しております。中央図書館・高田早苗記念研究図書館・理工学図書館・所沢図書館の各レファレンスカウンターで受け付けていますので、ぜひ登録して下さるようお願いいたします。

(文責：高橋 晶子)

〔表紙写真〕

森鷗外父子肖像 平福百穂画

明治40年頃、鷗外邸で催されたカルタ会の席上、日本画家の平福百穂(1877-1933)がスケッチした森鷗外(1862-1922)の横顔である。手前にいる少女は鷗外の長女茉莉(1903-87)。

この図は、百穂がスケッチ帳の中から切り抜いて本間久雄に贈ったもので、本間の著『明治文学史』下巻(昭和12年東京堂刊)の口絵に掲げられている。

所属名は原稿執筆時のもの

 ◆ 早稲田大学図書館報 ふみくら No. 70 2003 年 1 月 15 日発行 3,500部 ◆
 ◆ 発行人/紙屋敦之 ◆
 ◆ 担当課長/藤巻俊樹 編集委員会/芝田 穂・高橋晶子・細川正子 ◆
 ◆ 発行/早稲田大学図書館 〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1 - 6 - 1 ☎5286 - 1652 (ダイヤルイン) ◆

ISSN 0289-8926